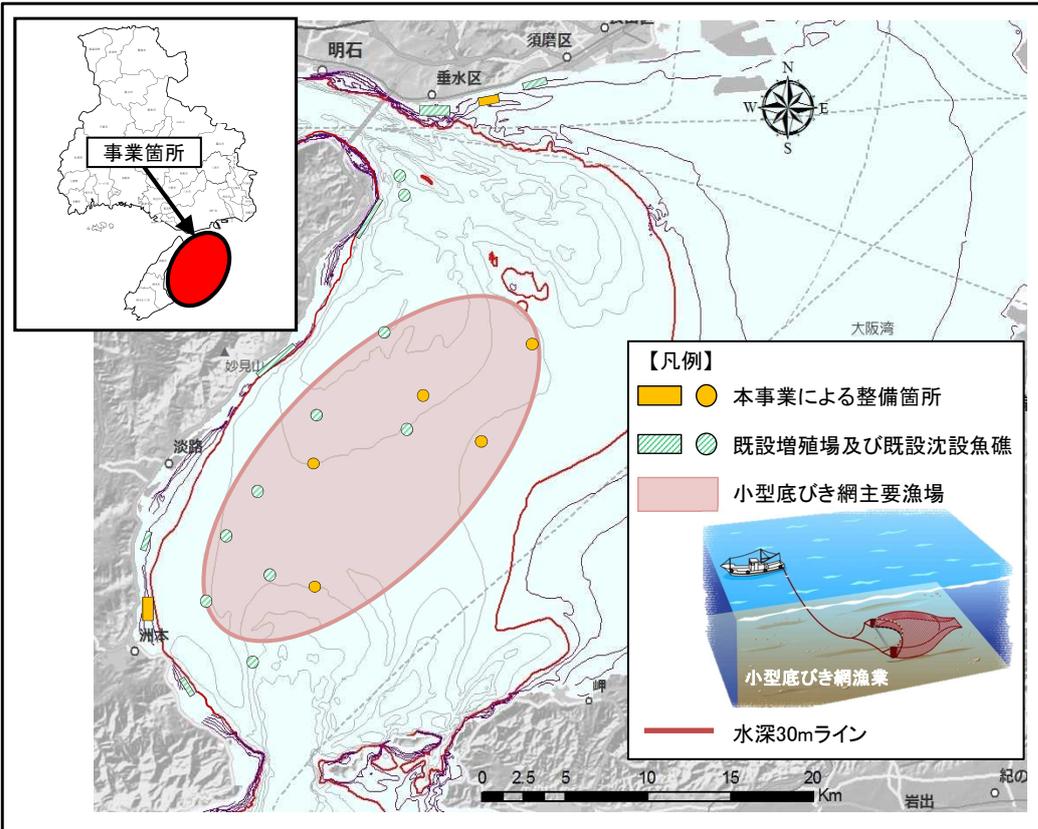


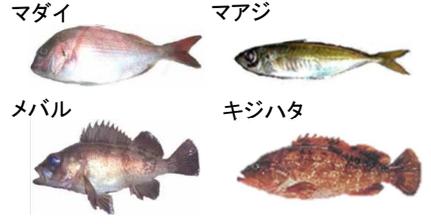
漁場整備事業 大阪湾地区

位置図

事業概要



- ①事業概要：(1)神戸増殖場 約2ha
(2)洲本増殖場 約3ha
(3)東浦漁場 魚礁約12,500空m³
(自然石、鋼製構造物、コンクリート構造物)
- ②所在地：(1)神戸市塩屋地先
(2)洲本市炬口地先
(3)淡路島東浦沖
- ③事業期間：R2～R7
- ④総事業費：4.0億円
- ⑤事業効果：対象魚種の資源増大及び漁場の拡大による生産量の増大
- ⑥対象魚種：マダイ、メバル、マアジ、キジハタ等



工程	R2	R3	R4	R5	R6	R7
神戸増殖場		■				
洲本増殖場					■	
東浦漁場	■	■	■	■	■	■

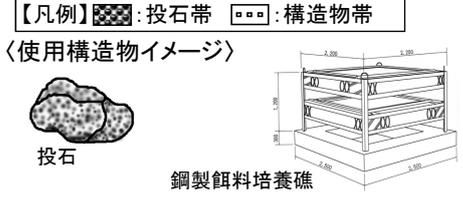
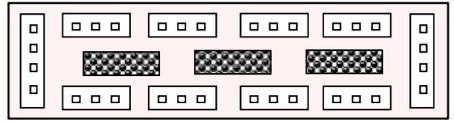
事業の必要性

造成手法

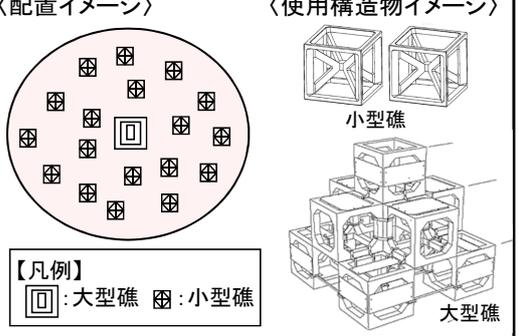
- ① 当地区は、非常に生産性の高い海域であったが、自然海岸や藻場の減少といった沿岸環境の変化や栄養塩の低下などにより、水産資源が減少している。
- ② 本事業では、増殖場の造成によりマダイをはじめとする岩礁性魚類の保護育成を図るとともに、当地区の主幹漁業である小型底びき網漁業の操業適地に漁場を造成することにより、水産資源と漁業生産を増大させることを目的とする。
- ③ 本事業により生息場を整備することと併せて、陸から海への栄養塩の供給量拡大の取組みを推進し、生産量の向上を図り、豊かな海の再生につなげる。

	現況	計画
生産量	2,984トン	3,030トン
生産金額	2,138百万円	2,173百万円

- ① 水深30m以浅に増殖場を造成（稚魚の保護・育成）
・投石（自然石）と鋼製餌料培養礁（構造物）等を組み合わせて変化に富む磯を造成
〈配置イメージ〉



- ② 水深30m以深の操業適地に漁場を造成（親魚の保護及び魚類の増殖）
・保護育成機能を持つ組立魚礁（大型礁）と構造が複雑な小型礁を組み合わせることで広く漁場を造成
〈配置イメージ〉



期待される効果

- ① 稚魚～親魚の保護育成による資源の増大
- ② 漁場拡大による漁業生産の向上

